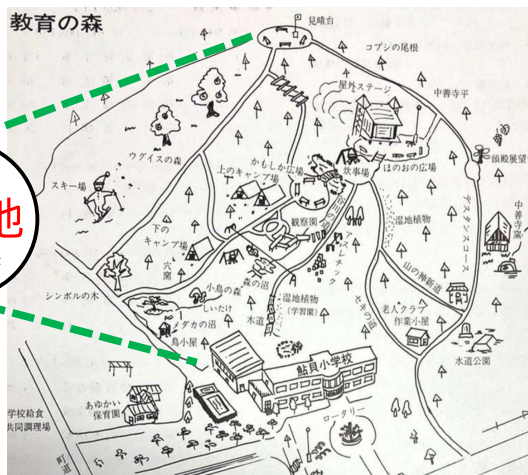




活動地
教育の森



教育の森
白鷹町立鮎貝小学校の裏山(8ha)の一部に整備され、学校教育や親子行事などに活用されてきた森林。

団体紹介

生涯教育の一環として恵まれた自然環境を整備活用して少年期の想像力並びに郷土意識と緑化思想の効用、自然を活用した遊びや学習、体力の向上を推進するほか地域住民の憩いの場として活用することを目的に、1956年6月に設立。会員は、鮎貝区内(鮎貝、高岡、深山)各区長、鮎貝小学校、同校後援会、同校PTA、認可地縁団体鮎貝自彊会、鮎貝地区コミュニティセンター

活動内容

6月16日

下刈り

参加人数: 約80名
活動内容: 下草の刈払い
その他: 作業後、アンケート調査を実施



8月7日

森林散策会

参加人数: 約18名(大人)
活動内容: 森林インストラクターによる野外活動&室内レクリエーション



8月20日

森林ハイキング

参加人数: 約50名(放課後児童クラブ)
活動内容: 森林インストラクターによる野外活動&室内レクリエーション



感想

下刈り参加者アンケートより

熱中症対策として時間帯の検討(6:00~8:00等)をお願いしたいです。
木や枝等が所々にそのまま倒れていたりして下刈りする際少し大変でした。
何年計画なのかわからないが範囲が広大過ぎるので範囲を縮小しては。
前は定期的に整備してきれいだった。いつから整備をしなくなったのだろう。

せっかくの教育の森なのだから教育に利用できるように整備を行って欲しい。
綿密な企画立案良かったです。
毎年行なうならば部分的に行っていくのがいいと思います。
整備作業を今後も実施いただきたいです。

応募団体◎振り返り

維持が課題だった裏山を、地域住民が草刈りで整備。森林インストラクターによる体験学習で、大人たちは子どもたちの野外学習の可能性を議論。夏休みには、子どもたちが普段行かない場所まで探検し、大喜び。この活動を機に、地域コミュニティが活性化し、子どもたちの学びの場が広がることを目指します。

◆メディア掲載◆
右:山形新聞(6月29日)
下:YBCテレビ(7月8日)

